八代市坂本町中津道地区　復興まちづくり計画（素案）

■復興に向けた課題

課題1　地区に戻り生活できる環境づくり

道路や河川、流失した鎌瀬橋等の早期復旧を図るとともに、地区を離れた住民が戻れるよう住まいの再建支援や空き家等を活用した住まいの確保を推進します。

地区別懇談会などでの意見

- 空き家を購入し住みたいと考えている、空き家を有効活用できるようにして欲しい
- 再建を考えているが場所がない
- JR肥薩線を復旧して欲しい
- バス等の公共交通手段の整備が必要
- 道路や河川の土砂の撤去が必要
- 道路の早期復旧が必要
- 鎌瀬橋の仮橋整備、復旧を優先的に進めて欲しい
- 元の場所に戻れるよう嵩上げ等が必要
- 流木の撤去が必要
- 砂防ダムの整備を検討して欲しい　等

課題2　防災機能を高め安心して暮らせる地区づくり

避難場所の再検討や避難路の整備を進め、災害発生時にも避難しやすい環境を整備します。また、ヘリポートや通信機器の設備拡充を進め、防災力の高い安心な地区づくりを進めます。

地区別懇談会などでの意見

- 集落に避難場所が必要
- 避難路に危険な箇所が多い、避難路の整備が必要
- 嵩上げ等、避難場所の整備が必要
- 避難場所に物資の保管が必要
- 避難指示、避難情報が正確に伝わるよう設備を整備して欲しい
- ヘリポートが欲しい　等

課題3　地区資源の保全と活用、賑わいの創出

地区が有する貴重な資源を保全していくとともに、地区に賑わいを取り戻すため、地区資源の活用や新たなイベントの創出等の観光振興を促進します。

地区別懇談会などでの意見

- 中津道阿蘇神社の復興を支援して欲しい
- 盆踊り等の行事を増やしたい
- 文化財となっており神木を保全していくため、神社・建物の復旧を支援して欲しい
- 祭りをできる限り継承していくことが必要
- 被災した地区資源の修繕を支援して欲しい　等

■復興まちづくりの目標

□□□□□□□□□□□□□□□□□□なまち 中津道

○○。

課題を解決することで地区が目指すべき姿（キャッチフレーズ）を検討ください。

■復興まちづくりプロジェクト（地区における取り組み）

プロジェクト1　居住の受け皿創出・地区の再生プロジェクト

○坂本町の交通軸を担う鎌瀬橋の早期復旧を進めるとともに、被災した道路や河川等の基盤の再生を推進します。また、地区に戻り住まう受け皿を確保するため、住まいの再建及び空き家等の活用を推進します。

【具体的な取り組み】

安全な住まいの再建	・輪中堤・宅地かさ上げによる安全な居住地の確保を図ります。
河川の安全性向上	・護岸の復旧や、河川内の土砂等の撤去を進めることで、災害に対する安全性を高めるよう、取り組みを進めます。
道路の安全性向上	・日常の生活や経済活動の基盤となり災害時には避難ルートとしての役割も果たす道路の安全性向上に向けて、国・県道について要望を行うとともに、市道等については住民との連携により取り組みを進めます。
生活利便施設への連絡	・地区の生活を支える商業や医療施設等、生活利便施設への移動手段の確保を図ります。
災害公営住宅の整備	・令和2年7月豪雨で住宅を失った被災者の生活再建に向けて災害公営住宅の整備を進めます。
空き家バンク制度の活用	・空き家バンク制度を活用した取り組みを促進します。また地区において、空き家を活用した取り組みを進めます。

プロジェクト2　自然災害への対応・防災機能の向上プロジェクト

○自然災害等への備えるため、避難所や避難路、ヘリポートの確保等により、地区の防災機能の向上を進めます。

【具体的な取り組み】

避難所の確保と避難情報の伝達	・地区内の避難所を確保するとともに、避難行動要支援者（高齢者等）への対応、災害時の情報伝達手段を確保します。（災害時のヘリコプター臨時発着場：中津道社会教育センター）
情報伝達の手段及び周知体制の整備	・避難情報や被害情報等、災害時に情報伝達が途切れることなく発信できるよう防災無線や衛星電話等を整備します。
○○（地区が主体となる取り組み）	・○○。

プロジェクト3　貴重な地区資源の保全・活用による賑わい創出プロジェクト

○盆踊りや山の神祭りなどの復活や、中津道阿蘇神社などの地区が有する資源を保全していくとともに、新たな行事・イベント開催等により賑わい創出を推進します。

【具体的な取り組み】

祭りの振興・復活	・地区に伝わる祭りの振興や復活により、コミュニティを活性化し、出身者が地区に関わる機会や地区外との交流を促進します。
地区の資源を活用した取り組みの推進	・中津道阿蘇神社や文化財となっている神木など、地区の資源を活用し、賑わいづくりを進めます。
○○（地区が主体となる取り組み）	・○○。

ページ左の「復興まちづくりの目標」を実現するために必要な取り組み（プロジェクト）について検討ください。

※ 第２回地区別懇談会やこれまで地域の皆様からいただいたご意見をもとに作成した素案であり、未調整事項も含みます。